

10/8 木曜

維新議員 核武装迫る

浅田氏、農地規制緩和も

日本維新の会の浅田一博参院会長は7日の参院本会議で、北朝鮮

均・参院会長は7日の参院本会議で、北朝鮮

のミサイル発射、ロシ

アのウクライナ侵略を挙げて、「撃たれる前に撃つ」というのが選択肢だ」「専守防衛という非現実的な政策をいつまで墨守するのか」と主張し、自衛隊の軍備増強として「核弾頭・非核弾頭両用のものを保持すべきとの意見もある」と核武装を迫りました。

岸田文雄首相は「専守防衛は堅持する」「非核三原則は堅持する」とする一方で、「反撃能力を含めてあらゆる選択肢を排除せず、現実的な検討を加速する」と述べました。

浅田氏は、「構造改革」として株式会社が農地を取得できるようになる「特区」の全国展開、解雇規制の緩和などを主張し、「企業の淘汰（どうた）や一時的な失業を受け入れる覚悟が必要だ」とさりなる規制緩和を主張しました。